

2011年度 同志社中学校

公開授業研究会のご案内（第一次）

2010年秋より、本校は、国語・社会・数学・理科・英語をはじめとするすべての授業を「教科専用教室」および「教科メディアスペース」でおこなう「教科センター方式」を開始しました。最新の校舎建築、学習環境のもとで、私たちは「参加型の学び」と「教科の専門的な学び」をめざして日々の研究と実践をすすめています。

つきましては、公開授業研究会を下記の通り開催いたしますので、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

「教科センター方式」による 新たな学びの展開

期 日 2011年6月13日（月）

会 場 同志社中学校

参加費 無 料



日程・内容

13:00	受 付
13:30～ 13:50	オリエンテーション
13:50～ 14:15	休 憩
14:15	公開授業 (各教科、複数学年で実施を予定しております。)
15:00～ 15:45	校内見学
15:45～ 16:30	全体協議

<お問い合わせ>

同志社中学校 校務センター

〒606-8558 京都市左京区岩倉大鷲町 89

TEL: 075-781-7253

FAX: 075-781-7254

学び続ける原動力となる探究心・知的好奇心を育む理想の教育環境をめざして —「教科センター方式」による新しい中学校教育の創出—

同志社中学校・高等学校 副校長 竹山 幸男

2010年秋、同志社中学校は、新しいキャンパスにおいて従来の中学校の一般的な学習スタイルとは一線を画す教育環境を実現しました。私たちがめざしたのは、同志社の創立者・新島先生の「自由・自治・自立」の精神にもとづく、生徒一人ひとりを大切にしたい「参加型の学び」と「教科の専門的な学び」をよりいっそう強化した最新の学びの場の創出です。これまで今出川キャンパスにおいて充実していた、理科や実技教科の特別教室・図書館に加え、通常「ホームルーム教室」と呼ばれてきた教室群を「教科専門教室」へ転換させ、「すべての授業を教科専門教室で行う」という「教科センター方式」という新たな教育のスタイルを導入し、実際の運用を始めているところです。

キャンパス構想や校舎建築構想の初期の段階から、学校建築・校舎建築計画に非常に見識が深く、文部科学省の施設整備指針等の策定にもかかわってこられた長澤悟先生（東洋大学教授）と出会うことによって、校舎建築が与える教育への影響の大きさとともに、新しい校舎建築によって生み出される教育の可能性についても学ぶことができました。中学校段階では全国的にもあまり例のない専門4分野の特別教室での理科の学習や用具や設備の整った実技教科の学習の環境を、すべての教科において実現できないかという視点で、教職員で分担しつつ、全国各地の「教科センター方式」の先駆的な取り組みをしている実践校を訪問、見学をしてきました。個人的には、海外の中等教育機関の校舎建築の見学、訪問の機会を持ち、教育環境創出のさまざまな可能性について模索することができました。実際の訪問、見学の経験や教職員での協議、検討を経て、中学校段階の校舎建築において「教科センター方式」の運用を行うことを前提とした校舎建築計画のコンセプトがまとめられてきました。

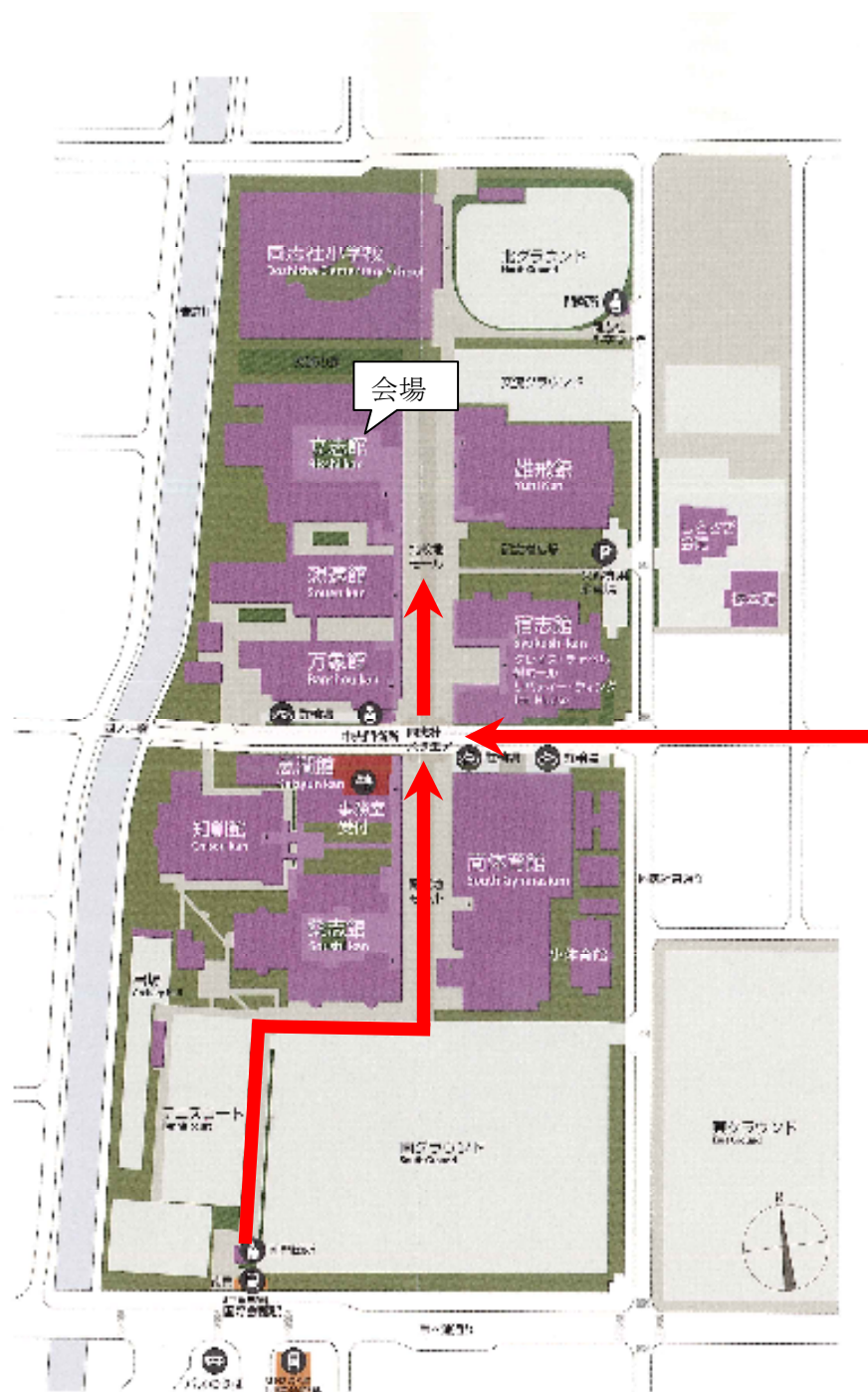
中学校のメインの校舎である「立志館」は、図書・メディアセンターを中心に、校舎全体が教科ごとのゾーンに分けられています。国語・社会・数学・英語などの教科専門教室がこの建物内にあり、別棟にある理科や実技教科の教科専門教室とあわせて、すべての授業を教科専門教室で行っています。生徒たちは毎時間、各教科の教室へ移動して授業に参加しています。「教科専門教室」では、教科の掲示資料やレポートなどの生徒作品を教室内に恒常的に準備・展示することができます。また、教科専門教室エリアに隣接して「メディアスペース（オープンスペース）」を設置し、それぞれの教科に関連した書籍・資料・掲示物などが置かれています。このスペースは、「教科ステーション（教科教員室）」とも隣接しているエリアもあり、授業におけるグループ学習や発表、休み時間や放課後などの補習や教科教員への質問、相談などにも利用されています。一方、「教科専門教室」には、文部科学省の補助金も受けながら、プロジェクターと電子黒板、それに付随する機器類を完備させ、それらを活用することでより興味深くわかりやすい授業が展開できます。

「立志館」では、教科専門教室に対応するかたちで「ホームベース」が設置されています。この場所には、生徒の個人ロッカーも設置され、クラス活動にかかわる掲示などが行われています。朝・昼食・終礼の時間およびクラス活動の時間は、各クラスのホームベースの前にある教科専門教室を用いて、日常のクラス活動や学園祭などのさまざまな活動を行っています。教科専用教室の廊下側には壁がなく、6枚扉を自由に開閉することによって、さまざまな活動形態に対応できるようなオープン性が特徴です。学年半ばの2学期からの新たなシステムの導入でしたが、生徒たちの適応力は非常に高く、ホームベースに設置された時計と校舎内9ヶ所に設置された電子情報掲示板を見ながら、「ノーチャイム」で学校生活を送っています。ホームベースの廊下側壁面は、在校生が今出

川キャンパスをイメージしたモチーフが組み合わさってできた作品となっています。デザイナーの島津勝弘先生の指導の下、その取り組みがKBS 京都でも紹介されました。

新キャンパスの精神的なシンボルとなるグレイス・チャペルは、キャンパス中央の宿志館にあります。コンペによって選ばれた設計者の香山壽夫先生は、東京大学の建築学科でも教鞭をとられた著名な建築家で、数々のキャンパスや校舎設計、劇場・ホールなども設計され、チャペル前のレリーフやステンドグラスにも、先生のキリスト教信仰（カトリック）が反映されたものとなっています。このような設計事務所の方々や長澤先生をはじめとする教育環境研究所の皆様のご協力があることで、具体的な建築の際にもさまざまな工夫を随所に入れていくことができたことを感謝しています。「教科センター方式」を中心とした校舎・施設の間い合わせなどは随時受け付けておりますので、私の方までご遠慮なくご連絡いただければ幸いです。

<同志社中学校へのアクセス>



叡山電鉄「八幡前」駅から

送付先 FAX 番号 075-781-7254

【当日参加も可能ですが、資料準備等の為、ご連絡いただけると幸いです】

2011 年度 同志社中学校

公開授業研究会 参加申込書

都道府県名	学校名		
学校区分	1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 中高併設校 5. 中等教育学校		
	6. 大学教員・研究者 7. 1~6 以外の方		
〒 学校所在地			
TEL _____		FAX _____	
ふりがな	職名	担当教科 (小学校は担任学年)	校務分掌 (委員会)
① 参加者氏名			
メールアドレス (差し支えなければご記入ください)			
ふりがな	職名	担当教科 (小学校は担任学年)	校務分掌 (委員会)
② 参加者氏名			
メールアドレス (差し支えなければご記入ください)			
ふりがな	職名	担当教科 (小学校は担任学年)	校務分掌 (委員会)
③ 参加者氏名			
メールアドレス (差し支えなければご記入ください)			

※ 太線枠内に必要事項を記入、○印をしてください。同一勤務校の方は複数お申し込みも可能です。

FAX または郵送でお申し込みください。(WEBからも申し込みが可能です。)

<授業公開>

教科等	社会 (政治)	社会 (地理)	数学 I	数学
授業者	井口	青木	田畑	諏訪
学年・クラス	3年B組	1年C組	3年F組	2年D組
教室	社会 1	社会 3	数学 4	数学 6

教科等	英語	英語	英語	理科 II
授業者	加藤	反田	フォアマン	小島
学年・クラス	3年G組	1年E組 (ハーフサイズ)	1年E組 (ハーフサイズ)	3年A組
教室	CALL1	英語 3	小教室 1	生物

教科等	技術	技術	国語	同志社標本館 見学
授業者	外村	沼田	巽	田邊
学年・クラス	1年B組	2年E組	3年C組	希望者
教室	技術 1	技術 2	国語 3	当日別途 ご案内

※詳細につきましては当日変更の可能性がございます。